



飯坂ロータリークラブ 週報

創立 昭和33年(1958)5月5日
ガバナー 芳賀 裕
ガバナー補佐 西川 博 美
会長 千葉 政 行
幹事 石川 邦 俊

地区活動目標

1. 人々が手を取り合うのを促そう。
2. 行動しよう。
3. ロータリー賞へ全クラブで挑戦しよう。
4. あの時(2011年3月)、これまで、そして未来を考えよう。
「復興フォーラム(仮称)への支援と協力

【ロータリー特別月間】
 10月は
 経済と地域社会の
 発展・米山月間

2019 - 2020 年度 ◆ 例会日/木曜日 12:30 ◆ 例会場/かむろみの郷 穴原温泉 匠のこころ 吉川屋
 RI会長 マーク・ダニエル・マローニー 事務局/〒960-0211 福島市飯坂町湯野字新湯6 (吉川屋内) ☎(024)542-2226 Fax(024)543-1433
 シンクスター・ロータリークラブ (アメリカ・アラバマ州)

通 算

第15回 [2982] 例会報告 令和元年(2019)10月17日(木)

出席委員会報告

会員総数	38名
出席会員	24名
欠席会員	14名
出席率	63.16%

言行はこれに照らしてから 「四つのテスト」

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

◆開会点鐘 千葉政行 会長

◆ロータリーソング [それでこそロータリー] 服部裕一 会員

◆四つのテストの唱和 渡辺達也 職業奉仕委員長

◆お客様紹介

- ※ 県北第二分区ガバナー補佐 西川博美 様 福島しんたつRC 【職業分類：建築資材】
- ※ 一般社団法人日本モンゴル友好ハッピー協会 会長 弓田八平 様
- ※ 一般社団法人日本モンゴル友好ハッピー協会 モンゴル物産館 館長 高橋義人 様

【10月の典様お誕生日】...♪♪♪ おめでとうございます ♪♪♪
 10月17日 菅野征子様(浩司会員) 10月23日 川又麻理様(康彦会員)
lunch time.....

◆会長あいさつ



皆さん、こんにちは。10月5日の国際交流フェスティバルはおつかれさまでした。皆様のご協力によりご参加いただいた外国人の方々には大変喜んでお帰りいただきました。毎年のことですが、準備から後片付けまでご協力、心から感謝申し上げます。

さて、10月11月も行事がたくさんありますがご参加のほど宜しくお願いいたします。今月の26日27日地区大会、11月10日は職場訪問で競馬場例会ですので宜しくお願いいたします。

今日のお客様ですが、日本モンゴル友好ハッピー協会から弓田会長と高橋館長にお越しいただいております。11月15日のチャリティーコンサートのご案内で来ていただいておりますので、後ほどご紹介をいただきます。宜しくお願いいたします。

◆幹事報告 石川邦俊 幹事

A. 来 信

① ガバナー 芳賀 裕 氏より
 「地区補助金セミナーの案内」
 と き 11月10日(日) 13:30~
 と ころ 郡山ユラックス熱海
 「2019-20年度米山記念奨学生による
 体験発表会の案内」

と き 11月30日(土) 体験発表会 13:30~15:20
 交流会 15:45~17:00

と ころ 郡山市立公民館
 「台風19号の大きな被害について」
 ・10/19地区大会記念チャリティー親善ゴルフ大会及び10/27地区大会大懇親会は中止となりました。

② 県北第二分区ガバナー補佐 西川博美 氏より
 「県北第二分区会長・幹事会の案内」 と き 11月27日(水) 18:00~20:30
 と ころ ミノリエ (福島市野田町)

B. メーキャップ報告

10/6 地区規則・手続委員会セミナー 千葉政行 会員
 10/12 地区行事 佐藤喜市郎 会員

◆スマイリングBOX 堀切孝敏 副委員長 【合計3-29】

県北第二分区ガバナー補佐 西川博美 様 1,000円 モンゴルの件、宜しくお願いします。
 日本モンゴルハッピー協会 弓田八平 様 4,000円 今日はよろしくお祈りします。

- 鈴木 義明会員 H 遅れましたが妻に誕生日の花をいただきありがとうございます。又、欠席おわび
- 佐藤喜市郎会員 H 県北第二分区ガバナー補佐をお迎えして
- 千葉 政行会員 S ・モンゴルを支援しましょう。 ・秋葉会員スピーチ楽しみです。宜しくお願いします。
- 佐藤 真也会員 S 西川ガバナー補佐、ゲストの皆様をお迎えして
- 紺野 容樹会員 S 秋葉会員のスピーチ楽しみにしていました。
- 松崎 義将会員 S 本日早退おわびとして
- 秋葉 一彦会員 T 新会員スピーチさせて頂きます。宜しくお願い致します。



ロータリーソング



「四つのテスト」



「モンゴル伝統芸能チャリティーコンサート」への支援につきましてお話をいただきました。

日本モンゴル物産館館長 高橋義人様



スマイリング報告

◆ 新会員スピーチ

秋葉一彦 会長



私は今年の2月に飯坂支店に転勤し、飯坂ロータリークラブの新入会員となったわけですが、なかなか全会員の皆様とじっくりお話する機会は限られておりますので、本日このような機会をいただきましたことに感謝申し上げます。私自身のこと、職場であります信用金庫のこと、さらには、信用金庫が現在取り組んでいる「クラウドファンディング」のこと、この大きく分けて3部構成でスピーチさせていただきますので、少しでも皆様に理解を深めていただければ幸いです。

まず、私のプロフィールですが、1971年(昭和46年)4月生まれの亥年今年年男です。同じ年生まれの地元飯坂の名士では福新建設の鈴木社長、丸中白土の紺野容樹専務といった方々です。現在、福島市渡利に妻と妻の母親と住んでおります。妻は同じ信用金庫に勤務しており、長男が高校2年生、長女が今年小学1年生になったばかりです。私は伊達市保原町に生まれ、保原高校を卒業し、福島信用金庫に入庫いたしました。中学高校と野球をやっておりました。ポジションは内野手としてサードを守り7番を打っておりました。最後の夏の大会はベスト16に進みましたが、4回戦で安積高校にコールド負けを喫し、最後の夏を終えてしまいました。私が信用金庫に入庫したのは1990年(平成2年)4月です。この前年はバブル経済崩壊の年ともいわれております。金庫に入った頃は週休二日制が導入されて間もない頃でしたので、毎日の残業が常態化しておりました。現代は「働き方改革」という名のもとに、ほとんど残業はありませんので、今の若い人たちに昔の話をしていても全く共感は得られません。私は中央支店を皮切りに平成8年に東支店に異動、平成13年に国見支店、平成19年に浜田町支店を経験し、平成24年から5年間本店に勤務し、その後は平成29年に松川支店長となりまして現在に至ります。当金庫にも軟式野球部があり、36歳まで野球を続けておりました。キャプテンも経験しまして、福島県総体で二度優勝し、東北信用金庫野球大会でも二度の優勝をしております。現在はPTAでのソフトボールとゴルフも楽しみのひとつとしておりますが、スコアは100を切る事が毎回の目標となるレベルです。平同はなかなか参加できませんが、予定がない週末であれば参加可能ですので、今後、飯坂ロータリーのコンペにも参加したいと思っております。

私どもの福島信金の沿革についてですが、昭和25年設立の太陽信用金庫と大正7年設立の福島市信用金庫が昭和34年に合併し福陽信用金庫となりました。さらに大正2年設立の飯坂信用金庫と福陽信用金庫が昭和45年に合併し、昭和51年に伊達中央信用金庫と福陽信用金庫が合併し、現在の福島信用金庫が誕生いたしました。飯坂信用金庫のルーツは、大正2年に飯坂と湯野の旅館経営者と観光に携わる人々によって飯坂信用組合が設立されました。合併前の飯坂信用金庫の理事長が佐藤長男さんで、店舗数は2店舗、職員は26名だったそうです。平成25年に100周年を迎え、今年4月で106年の歴史を刻んでおります。信用金庫とはなにかと一言で表しますと、「会員制度に立脚し、地域の繁栄を図る相互扶助を目的とした会員制度に基づく協同組織の金融機関」です。お客様からお預かりする資金をもとに、会員をはじめ地域の皆様にご融資を行うなど、地域に安定した資金を供給することによって地域経済を担う中小企業の成長や皆様の豊かな暮らしづくりに貢献いたします。銀行との違いは、金融サービスは同じでも基本理念の違いで組織のあり方がそれぞれ違います。銀行は株式会社であり、株主の利益が優先されますが、信用金庫は地域の方々が利用者・会員となって互いに地域繁栄を図る相互扶助を目的とした協同組織の金融機関で、主な取引先は中小企業や個人です。会員すなわち地域社会の利益が優先されます。さらに営業地域は一定の地域に限定されており、お預かりした資金はその地域の発展に活かされております。

次に新しい資金調達の手段であります「クラウドファンディング」についてお話していきたいと思っております。インターネットを介して不特定多数の人に資金提供を呼びかけ、趣旨に賛同した人から資金を集める方法です。欧米では早くから認知されていましたが、日本では2011年に国内最大規模を誇るクラウドファンディングサービス会社「Readyfor」がサービス開始したのが始まりとなります。2011年は東日本大震災があった年ですので、当社は新規事業の中でも、社会貢献性の高い事業に対して賛同を募るプロジェクトが多くを占めていました。クラウドファンディングの登場により、「世の中に受け入れられるかどうか」というマーケティングを兼ねて、新規事業の可能性を世の中に問うことができるようになりました。2018年度の国内クラウドファンディングの市場規模は2044億円といわれており、今後も市場規模は拡大基調が続くとみられております。当金庫の第1号案件は平成29年5月に成立したものです。国見支店の案件でしたが、目的は風評被害の払拭で、目標金額は500千円に設定したところ、一週間で目標の500千円を集めることができました。最終的には期間2ヶ月間で総支援者80人金額1236千円を集めることに成功いたしました。飯坂支店が取り上げた案件では、特定営利法人いざかサポーターズクラブのクラウドファンディングで、平成29年当時、4回目を迎えた「夏モニカツ」のイベントの開催資金として募ったものです。それまでは助成金を活用していましたが、助成金の活用が難しくなり、花火の打ち上げ費用が不足していたことからクラウドファンディングを活用したものです。

私がクラウドファンディングを通して感じたことは、「何かを達成したい」「何かを作りたい」といった時に、まったく“0”から資金を集めるのはやはり大変ですので、ある程度の支援者を確保した上で、その集金の手段の一つとして、クラウドファンディングを活用するのがいいのではないかと思います。なにかのイベント、あるいは事業で資金が必要な時に、クラウドファンディングという方法がございますので、頭の片隅においていただければ幸いです。まとまりのない話とはなりましたが、これで私のスピーチを終わらせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

